



# 朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和7年 11月 28日(金)

12月号 児童数413名

TEL: 048-466-4481

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>

【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」

すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】 「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」

子供達の「ありのまま」を、あたたかく見守る冬に

校長 小林美加

12月は、木枯らしが吹き、吐く息が白くなる季節。子供達は、寒さにも負けず、元気いっぱい遊び、笑い、時には泣いたり怒ったりしながら、たくさんのことを学び、毎日を一生懸命過ごしています。先日の学校公開期間、音楽集会、個人面談には、ご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。これからも、保護者の方が先生方と直接話をするのができたり、校内の様子や子供達の普段の頑張っている姿をご覧いただけたらいい機会を大切にしていきたいと思っています。

12月の全校朝会では、持続可能な開発目標(SDGs)についてクイズをだしながらお話をしました。持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年を期限とする開発目標です。世界が直面している問題を解決するために作られ、全ての人が安心して暮らし続けられる未来を目指す17の目標があります。難しそうに思いますが、「水や電気をむだにしない」「食べ物を残さない」「ゴミを川に流さない」「ゴミを分別する」「友だちを大切にすること」「助け合う気持ちをもつ」などは子供達にもできそうです。「今日から1つ、自分にできることをやってみよう!」と話しましたので、ご家庭でも取り組んでみていただけると幸いです。

さて、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、詩人・書家である相田みつをさんの詩の中の言葉をここで、ご紹介したいと思います。

「育てたように子は育つ」子供達は、大人の言葉や行動をよく見ています。大人のまなざしや言葉を感じ取りながら育っていきます。私達大人が、日々どんな言葉を使い、どんなふうにと人と接しているか。子供達にどんな言葉をかけ、どんな背中を見せているのか——それが、子供達の心にしみ込んでいくと思います。親が一番子供のことをわかっているといいますが、子供の方が親の気持ちをよくわかっているのではないのでしょうか。自分達の思い通りに子供を育てれば、子供は他者の思い通りにしか行動することができず、常に誰かに依存してしまいます。これからの時代を担う子供達には、「自分で考えて行動する」力が必要であり、学校とご家庭とで協力してこの力を育てていきたいと思っています。

「そのままがいいがな」私達が「そのままでもいいよ」と受け止めることで、子供達は安心して自分らしく歩んでいくことができます。「ちゃんと見てくれている」「自分のことをわかってくれている」子供達は、そんな安心感の中でこそ、伸び伸びと育っていくことができるのだと思います。できないことがあっても、失敗しても、うまく言えなくてもいい。大切なのは、今のその子をまるごと受け止め「そのままでもいいよ」と伝えることが、子供達にとって何よりの励ましになると思います。

年の瀬が近づくこの時期、子どもたちの1年の成長を振り返りながら、「よくがんばったね。」「そのままのあなたが大好きだよ。」と、あたたかい言葉をかけてあげてください。

早いもので、あと20日余りで、冬休みを迎えます。体調に気を付けて、元気に仲良く楽しく過ごしてほしいと思います。今後とも、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。